



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 福

コード番号 7417 URL <http://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,798	14.6	595	8.6	654	4.5	421	6.4
29年3月期第1四半期	7,677	1.6	651	50.9	685	44.7	396	36.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 482百万円 (28.5%) 29年3月期第1四半期 375百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	66.19	
29年3月期第1四半期	62.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	30,608	14,980	48.9
29年3月期	30,947	14,739	47.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,980百万円 29年3月期 14,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		38.00	53.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		15.00		36.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	11.0	900	15.3	900	19.9	580	16.0	91.08
通期	34,500	8.4	2,000	4.2	2,000	1.9	1,280	4.3	201.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,615,070 株	29年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	247,275 株	29年3月期	247,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,367,795 株	29年3月期1Q	6,367,855 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復を受けて企業の生産活動は好調に推移するとともに、設備投資についても底堅く推移いたしました。また、個人消費についても、人手不足を背景とする所得環境の改善を受けて持ち直しの動きが見られるなど、わが国経済は緩やかながらも回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は8,798百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は595百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は654百万円（前年同期比4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は421百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、熊本地震の復旧、復興に向けた工事は継続するとともに、一部の建設機械においては、9月以降の排ガス規制強化前の駆け込み需要が続く中、販売部門においては、既存取引先の需要の掘り起こしと社会インフラの補修に関連する商品の販売強化に努めるとともに、レンタル部門においては、民間需要の開拓と拠点間の設備移動を柔軟に実施し顧客ニーズへの対応を強化してまいりました。この結果、売上高は3,085百万円（前年同期比4.2%増）となりましたが、前年同期はクレーンレンタルの終了により当該資産を売却したこともあり、セグメント利益は330百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、世界経済の回復を受けて、電子部品・半導体やロボットに関わる企業の生産活動は高水準で推移するとともに、設備投資についても回復基調が続く中、好調が続くスマートフォン、車載用半導体、ロボット分野を中心に提案営業の強化に努めるとともに、新たな生産部品・消耗部品の開拓と販売強化にも努めてまいりました。この結果、生産部品・消耗部品の販売、設備機械の販売ともに好調に推移したことにより、売上高は5,599百万円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は355百万円（前年同期比33.2%増）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、昨年度の補正予算の効果が徐々に顕在化したものの、事業を展開している地域においては、民間の大型プロジェクトと災害復旧工事が一巡したことにより厳しい状況が続く中、継続して民間企業への営業強化による中小規模の工事の受注獲得に努めてまいりました。しかしながら官需、民需ともに全体の工事量が減少したことにより売上高は113百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度に比べ339百万円減少（1.1%減）し、30,608百万円となりました。増減の主な内容は、受取手形及び売掛金が899百万円増加したものの、現金及び預金が473百万円、貸与資産が316百万円、流動資産のその他が300百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ580百万円減少（3.6%減）し、15,628百万円となりました。増減の主な内容は、賞与引当金が211百万円、短期借入金が186百万円、長期借入金が154百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ240百万円増加（1.6%増）し、14,980百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が179百万円、その他有価証券評価差額金が68百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.9%と前連結会計年度に比べ1.3ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753	5,279
受取手形及び売掛金	10,209	11,108
電子記録債権	1,520	1,384
貸貸料等未収入金	670	484
商品及び製品	1,337	1,346
仕掛品	68	100
貯蔵品	3	2
その他	900	600
貸倒引当金	△238	△202
流動資産合計	20,224	20,105
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	6,174	5,858
その他(純額)	2,350	2,370
有形固定資産合計	8,524	8,228
無形固定資産		
のれん	107	99
その他	59	52
無形固定資産合計	167	151
投資その他の資産		
投資有価証券	1,738	1,831
その他	311	319
貸倒引当金	△24	△32
投資その他の資産合計	2,026	2,118
固定資産合計	10,718	10,498
繰延資産		
開発費	5	4
繰延資産合計	5	4
資産合計	30,947	30,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,984	9,421
短期借入金	1,236	1,050
1年内返済予定の長期借入金	631	553
リース債務	1,564	1,446
未払法人税等	220	110
賞与引当金	339	127
役員賞与引当金	60	—
割賦利益繰延	491	451
その他	1,052	962
流動負債合計	14,578	14,123
固定負債		
長期借入金	597	443
役員退職慰労引当金	115	110
その他の引当金	382	384
退職給付に係る負債	346	338
その他	187	227
固定負債合計	1,629	1,504
負債合計	16,208	15,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	12,051	12,230
自己株式	△231	△231
株主資本合計	14,017	14,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608	676
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	115	107
その他の包括利益累計額合計	722	783
純資産合計	14,739	14,980
負債純資産合計	30,947	30,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,677	8,798
売上原価	6,151	7,341
差引売上総利益	1,526	1,457
割賦販売未実現利益戻入額	78	72
割賦販売未実現利益繰入額	41	32
売上総利益	1,563	1,497
販売費及び一般管理費	912	902
営業利益	651	595
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	12	13
持分法による投資利益	7	5
貸倒引当金戻入額	5	28
その他	22	19
営業外収益合計	53	71
営業外費用		
支払利息	16	11
その他	2	0
営業外費用合計	19	12
経常利益	685	654
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券評価損	60	—
特別損失合計	60	—
税金等調整前四半期純利益	624	655
法人税、住民税及び事業税	75	119
法人税等調整額	153	113
法人税等合計	228	233
四半期純利益	396	421
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	421

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	396	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	66
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△33	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	12
その他の包括利益合計	△20	61
四半期包括利益	375	482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375	482
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,960	4,597	119	7,677	—	7,677
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	—	7	△7	—
計	2,962	4,603	119	7,684	△7	7,677
セグメント利益	474	266	19	760	△109	651

(注) 1 セグメント利益の調整額△109百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,085	5,599	113	8,798	—	8,798
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	13	—	16	△16	—
計	3,088	5,613	113	8,815	△16	8,798
セグメント利益	330	355	13	699	△104	595

(注) 1 セグメント利益の調整額△104百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。